

学校名 久喜市立栗橋南小学校
所在地 久喜市南栗橋4-21-1
電話 0480-52-0235

1 本校の概要

本校は、創立148年の歴史と伝統のある学校である。学校像「自信と誇りと感動のある学校」を掲げ、本校の教育理念である「全ての子供たちが何事にも全力で取り組み、成長と感動を実感できる教育」を推進している。児童数474名。(R4.1.14現在)

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書活動の充実



【読書の木】 【読み聞かせ】

(2) 実践の概要

ア 読書に親しむ態度の育成

- ・密にならないための図書の貸出の工夫

貸出は、週1回一人7冊まで2週間として密を防ぎつつ、貸出冊数を増やした。常時喚気、消毒液、パーテーションの設置の他、図書館利用の時間割を決め、優先日には率先して学校図書館を利用しつつ、1学級のみ利用とし、密を避けた。

- ・読書記録カードの活用、多読者賞

全校児童に読書記録カードを作り、読書の目標冊数を決めて3月に達成した児童全員に読書賞を贈る。また、学期ごとに多読者賞を贈った。

- ・読書の木で児童の読書状況を把握

全校児童の読書状況を把握するために、読書の木を学校図書館に掲示し、冊数が増えるごとに葉の色を変えて紅葉するようにした。1学期で100冊を超えて金の葉になった児童が二人いた。貸出冊数を増やしたことで、読書に親しむ児童が増えた。

- ・学校図書館案内マップ

図書委員と協力して、学校図書館の本の場所が一目で分かるように学校図書館の案内マップを作った。

- ・おすすめの本の紹介、図書の配置の工夫

月ごとに、教員のおすすめの本、児童によるおすすめの本の紹介を全校で取り組んでいる。また、国語科の学習との関連図書や新刊図書のコーナー等図書の配置を工夫している。

イ 家庭、地域との連携

- ・親子読書週間と親子読書

10月27日～11月9日を親子読書週間とし、親子で同じ本を読んで、それぞれの感想を伝え合う取組をした。参加した300名に親子読書参加賞を渡し、クラスごとに掲示した。読書カードに描いた絵は読書感想画コンクールに応募した。



【親子読書カード・親子読書参加賞】 【ビブリオバトル】

- ・読み聞かせ

年4回各学級において「お話会」の方による読み聞かせ、各学年、年1回栗橋図書館の司書の方によるブックトークなどを行っている。

- ・蔵書点検

図書ボランティアさんと一緒に蔵書点検をした。

ウ 調べる学習コンクールの取組

今年度から始まった久喜市の調べる学習コンクールについて教職員に趣旨を説明し、国語や生活科、社会、総合など普段の授業で調べ学習に取り組み、その成果を1学期終了後に回収した。結果として376点の作品が集まった。

エ 企業連携事業「Yomokka!」の活用

ポプラ社との企業連携事業である「Yomokka!」について研修を行い、2学期開始直後にサービスの利用を始めた。児童はいつでもどこでも気軽に読めるため、喜んで読んでいた。6年生は、これを用いて国語の「私と本」の学習でビブリオバトルを実践した。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

多くの児童が、読書に対する意欲を高めている。学校図書館の利用者も増え、昼休みの学校図書館では、互いに面白かった本を紹介しあっている姿が多くみられるようになった。ここ数年で、学校図書館の本の貸出冊数も2.5倍に増えた。

(2) 課題

計画的な図書の購入を進め、授業での学校図書館の利用場面を増やしていく。